

## 競技・審判上の注意事項

1 A この大会は、(公財)日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程並びに、  
公認審判規程に則り行います。

### 今大会の大会運営規則

ア) ポイントは、準々決勝までの試合は、15点(最大21点) 2ゲーム先取の3ゲームで行います。

ゲーム中(8点)のインターバルは、行いません。

ゲーム間のインターバルは、120秒以内とします。

但し、準決勝・三決・決勝は、正規ルールで行います。

イ) 選手は、サーブの高さを確認するために、

上衣前面115cmの所に目印を付けて参加してください。

B 給水やタオルの使用については、必ず主審の許可を得て下さい。

飲み物(フタのできる容器)は、コートサイドの所定の場所で各自持参のカバン中に入れてください。

飲み物は、フロアーに直接置かないようにしてください。

C 今大会では、練習時間を設けておりません。

各試合、主審が準備できるまでは対戦相手との練習は許可します。

大会で使用のシャトルは練習では使用禁止です、各自用意してください。

D 試合の線審は、そのコートで試合終了した選手で行ってください。

初回線審は各チームで用意してください。

勝者は、次の試合の準備のために交代する場合は、そのチームで用意してください。

5、6年生の部、準決勝以降の試合については、後日ダブルス戦の日に行います。

E 試合が連続する場合、前の試合のスコアシートに記載された終了時刻から**10分間あけてから**次の試合を開始します。

2 F 主審は、放送で案内されたら、審判用紙等を受け取り、担当コートへ行き、  
準備(スコアーシートの確認と各箇所の記入)をしてください。

G 主審は、試合を行う選手の氏名を確認し、背面のゼッケンに

氏名と所属チーム名が正しく記載されているかを必ず確認してください。

文字の大きさを6cm～10cmの高さで確認してください。

H 主審は、その試合の線審のイスを確認し、正しい位置での指導を行って下さい。

I 主審がインターバル中「20秒」とコールしたら

監督・コーチはコートを離れ、選手はコートに入ってください。

J 主審は、試合が終了したら、終了時間を記入し、勝者に**勝者サイン**を記入してもらってください。

K 各団体よりの役員(審判員を含む)は会場撤収まで行ってください。

3 L 監督・コーチについて

① (公財)日本バドミントン協会へ登録済みの者で、

愛知県小学生バドミントン連盟へ、事前に加盟団体より指導者登録をした者とします。

② アリーナ内では、指導者カード(吊り下げ名札)を必ず使用してください。

③ コーチ席は1席とします。

④ 誰がどの選手のコーチであるかは限定しません。

⑤ 公認審判員資格を有す方のみとします。

M 監督・コーチも大会にふさわしい服装で室内用シューズを着用してください。

長ズボン、体育館シューズを着用してください。

※短パン、7分丈パンツ、バミューダ、ジーンズ、裸足、サンダル等は禁止です。

N 競技場内への携帯電話又はタブレット端末の持込は禁止です。

持ち込む場合は、電源を切るか、マナーモードにしてください。(競技場内では使用しないでください。)

4 O 表彰は4位まで表彰状を授与します。

5 P その他注意事項について

ア) 競技中の怪我等の応急処置は主催者が行いますが、それ以降の処置については  
1日スポーツ障害保険の規程範囲内での措置とし、以降の責任は負いません。

イ) 選手の更衣は、更衣室で行ってください。但し荷物は置かないでください。

ウ) 体育館使用については、体育館利用規程に基づき、引率者は、体育館内の  
選手・同行者の行動について十分注意し、指導・監督を行ってください。

エ) 競技場以外での事故については、主催者側は責任を負いません。

オ) 体育館内では、体育館専用の運動靴を着用してください。

カ) 観客席に、忘れ物の無いようにお願いします。

キ) **観客席での応援は立って手すり(透明な仕切り板)を持っての応援はおやめください。**

ク) ゴミ等は、必ず各自で持ち帰ってください。

ケ) 駐車場でのウォーミングアップは、体育館より指導がありましたので、禁止とします。